

県内総合

建設情報 *Iwate*

白浜建築設計事務所に

石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館 改修・増築の実施設計

盛岡市
盛岡市
盛岡市

盛岡市財政部は、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館大規模改修及び増築工事に係る実施設計業務委託を入札した結果、白浜建築設計事務所が落札した。22年度は実施設計を作成するとともに、石川啄木記念館の一部建物を解体。23年度に既存建物の大規模改修と増築工事を行う方針だ。(関連5面)

現在の石川啄木記念館は1986年、玉山歴史民俗資料館は77年に建設された。両施設ともに施設の老朽化や収蔵庫、展示室のスペース不足などが問題化。さらに隣接地に整備される道の駅との連携も計画されている。

そのため市では、新市建設計画や公共施設保有最適化・長寿命化計画の基本方針を踏まえ、石川啄木記念館の現建物を大規模改修

し、隣地に玉山歴史民俗資料館を増築棟として整備することとした。

計画によると、両施設を合わせた施設規模は、床面積で約1000平方メートルが見込まれている。既存の石川啄木記念館は鉄筋コンクリート造平屋建て521.50平方メートル。内部を大規模改修するほか、附属建物の屋外便所・渡り廊下(木造平屋建て約40平方メートル)を解体する。玉山歴史民俗資料館となる増築棟は、鉄筋コンクリート造平屋建て約480平方メートルを想定している。

このうち大規模改修工事については、建築主体で▽外壁、屋根、内装の改修▽建具、設備機器類の交換▽床材、壁材、天井、窓サッシ、建具などの更新▽来客用トイレの設置▽バリアフリー化(段差解消)一を実施する。

今年度は修繕設計を計画

奥州市 広瀬大橋など11橋対象

奥州市は、江刺の市道下日向大曲線の広瀬大橋、胆沢の市道堰袋大歩線の大歩橋など11橋について、修繕に向けた設計を今年度計画している。いずれも橋梁の定期点検の結果を受けて実施する。点検結果に基づき修繕していく方針だが、設計の中でさらに精査した上で、修繕の内容を固めていく。施工は、来年度以降を見込む。

今年度設計を実施する橋を見ると、市道下日向大曲線の広瀬大橋、

市道谷子沢南川山線の赤倉沢橋、市道高田上林下線の高田橋、市道駒堂館線の館2号橋、市道堰袋大歩線の大歩橋、市道太郎ヶ沢弥栄線の太郎ヶ沢6号橋、市道佐野線の亀の子橋、市道小名丸線の小名丸橋、市道台町阿久戸上島線の上島橋、市道八日市馬場先西下川原線の二本木用水路4号橋となっている。

設計の中で詳細を詰めていくが、点検の結果の段階で広瀬大橋、大歩橋、上島橋については、規模が大きな修繕になる可能性があるとしている。二本木用水路4号橋では、ボックスカルバート化にすることも含めて施工内容を検討する構えだ。このうち、広



修繕へ設計を進める広瀬大橋

ニュースの
お知らせは
〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

電気設備工事では照明器具のLED化や電気系統設備の更新など、機械設備においては給排水設備・配管の更新や冷暖房設備・配管の更新、灯油タンクの更新、防災設備の更新などが計画されている。

また外構工事として、現駐車場スペースの活用による中庭の拡大再整備や植栽、記念碑・石碑の再設置などについて、今回の実施設計の中で検討するとしている。

現時点での計画工事費は、大規模改修・増築工事に約5億円、展示製作に約2億2300万円、石川啄木記念館の一部解体に約2800万円が見込まれている。

順調に作業が進めば、22年度で建築・展示の実施設計と地質調査のほか、石川啄木記念館の一部解体工事を実施したい意向。23年度で大規模改修、増築、外構整備工事を行い、24年度の供用開始を目指す。

今回の業務の入札には10社が参加。白浜建築設計事務所が1980万円で落札した。委託期間は280日間となっている。

瀬大橋、亀の子橋、小名丸橋、上島橋、二本木用水路4号橋の5橋の設計は、先日入札を行い、東日設計コンサルタントの担当に決定。残る6橋も近く外部委託したいとしている。

今年度修繕に向けた設計を実施する橋梁は次の通り。橋梁名に続き①路線名②位置する地区③橋長④完成年一の順。

▽広瀬大橋①市道下日向大曲線②江刺③37.40メートル④1967年

▽赤倉沢橋①市道谷子沢南川山線②胆沢③10.00メートル④不明

▽高田橋①市道高田上林下線②水沢③5.70メートル④1975年

▽二丁目橋①市道堰田宇南田線②胆沢③3.10メートル④不明

▽館2号橋①市道駒堂館線②胆沢③4.40メートル④不明

▽大歩橋①市道堰袋大歩線②胆沢③84.00メートル④1976年

▽太郎ヶ沢6号橋①市道太郎ヶ沢弥栄線②前沢③17.60メートル④1961年

▽亀の子橋①市道佐野線②江刺③56.00メートル④1970年

▽小名丸橋①市道小名丸線②江刺③42.80メートル④1971年

▽上島橋①市道台町阿久戸上島線②水沢③50.00メートル④1968年

▽二本木用水路4号橋①市道八日市馬場先西下川原線②江刺③3.40メートル④1979年

県 農業水利施設の維持更新計画 ⑬

県の農業水利施設の維持更新計画(2022年度版)に掲載された施設は以下の通り。施設名に続き①市町村②施設管理者③受益面積④水路⑤水路以外⑥県事業名⑦地区名⑧事業概要⑨区分⑩事業期間⑪想定総事業費一の順。

〈県南広域振興局(一関)〉

▽相川揚水機場(配電設備)①一関市②藤沢土地改良区③338.0ha④一⑤電気設備1式⑥基幹水利施設ストックマネジメント事業⑦一⑧用水施設整備⑨補修等⑩2030年度⑪15,000

▽相川4号F P①一関市②藤沢土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストック

▽相川1号F P①一関市②藤沢

土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストックマネジメント事業⑦一⑧用水施設整備⑨補修等⑩2030年度⑪15,000

▽相川2号F P①一関市②藤沢土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストック

▽相川4号F P①一関市②藤沢土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストック

▽相川5号F P①一関市②藤沢

土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストック

土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストックマネジメント事業⑦一⑧用水施設整備⑨補修等⑩2030年度⑪15,000

▽千松2号F P①一関市②藤沢土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストックマネジメント事業⑦一⑧用水施設整備⑨補修等⑩2030年度⑪5,000

▽千松2号F P①一関市②藤沢土地改良区③393.0ha④一⑤調整池1カ所⑥基幹水利施設ストックマネジメント事業⑦一⑧用水施設整備⑨補修等⑩2030年度⑪5,000

(つづく)

出版物のお問い合わせは
☎019-623-8201 営業局まで

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える

令和4年3月16日の福島県沖の地震について

岩手大学理工学部システム創成工学科准教授

山本 英和



令和4年3月16日23時36分頃、福島県沖の深さ約55kmでM7.4の地震が発生しました。宮城県福島県で最大震度6強を観測し被害が発生しました。発震機構は西北西―東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で太平洋プレート内部で発生した地震でした(気象庁による)。最大震度6強を観測した場所は、宮城県の登米市・蔵王町、福島県の国見町・相馬市・南相馬市の合計五つであり、北海道から九州地方にかけて震度6弱～1を観測しました。地震動の最大加速度は、宮城県川崎町のKiK-netの川崎観測点で、重力加速度を超える1233ガルを記録しました(防災科学技術研究所による)。人的被害は、死者3名、負傷者248名、住宅被害は、全壊111棟、半壊1285棟、一部損壊1万9048棟でした(消防庁による)。

福島県沖では、2021年にも大きな地震が発生して各種の被害が発生しました。今回の地震と2021年の地震の震度分布や最大加速度を比較すると、今回の地震は、全体として震度や最大加速度の大きい観測点が多く、特に、震源の北側では、その傾向が強くなっています。これは、今回の地震は、地震の規模が大きいことや震源域が2021年の地震に比べ北側に位置したことなどが影響していると考えられます(地震本部による)。

一番衝撃的な被害は新幹線の損傷でした。地震動の加速度の大きかった白石蔵王駅付近で東北新幹線が脱線し、復旧には時間がかかってしまいました。電柱被害も79本、架線断線2カ所、土土設備被害60カ所など被害状況の合計は約1000カ所にのぼりました(3月21日時点、JR東日本による)。年度末の移動シーズンを直撃し、その対応として、急遽臨時のバス増便や、首都圏と東北を結ぶ臨時航空便が運行されることとなりました。3月22日には那須塩原郡山間、一ノ関盛岡間が運転再開、4月2日には郡山福島間が、4月4日には仙台一ノ関間が運転再開となりました。4月14日より全線で運転再開、ただし、郡山一ノ関間では徐行運転がつづき、5月13日から通常ダイヤでの運転再開となりました。

今回の地震の震源付近では、2021年2月13日に太

平洋プレート内部でM7.3の地震が発生しており、この2021年の地震の地震活動域は、今回の一連の地震活動域の南側に位置し、主な活動域は概ね隣接した別領域に分布しているように見えます。なお、今回の地震の震源から北北東へ約60kmの場所では、東日本大震災発生から約1カ月後の2011年4月7日に太平洋プレート内部でM7.2の地震が発生しています(地震本部による)。まとめると、今回の地震は、2021年の地震の北側の、2011年4月の地震の南側のプレート内部で発生したと言えます。まだまだ東日本大震災の影響と考えられるM7クラスの地震は東北地方では発生し続けること意味しています。

気象庁は大震災から10年経過したあとに「東北地方太平洋沖地震の余震」という言葉を使用しなくなりました。それまでは東北地方太平洋沖地震の震源域の中で発生すれば、ほとんどすべての地震を「余震と考えられる」と表現していました。10年たったとしても、実際には大地震によって周辺の歪(応力)の場が不均一になっていてその影響で新たな地震が発生すると考えられます。国土地理院のジオネットによる地殻変動の観測結果も少しではありますが、まだ東北地方は東側に変形していることが観測されています(通常は太平洋プレートが日本列島を押すと考えているので西側に歪まなければならない、震災後は逆の西側に歪位している)。決して、大震災は終わったものではなく、現在でも震災の影響は残っていて、定量的に説明できませんが、定性的には今後長い間余震(関連地震)の発生は続くと考えられます。短期予知が困難な状況では、日頃から地震が発生するかもしれない前提でいろいろな対策をしておきましょう。

参考資料：地震本部：2022年3月16日福島県沖の地震の評価

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

おかげさまで、㈱岩手測器社は 創業から34年を迎えることができました

ー 未来に繋がる最先端技術 ー

設計通りにバケット刃先をコントロール!過掘りしない安心施工を実現!

X-53x Auto

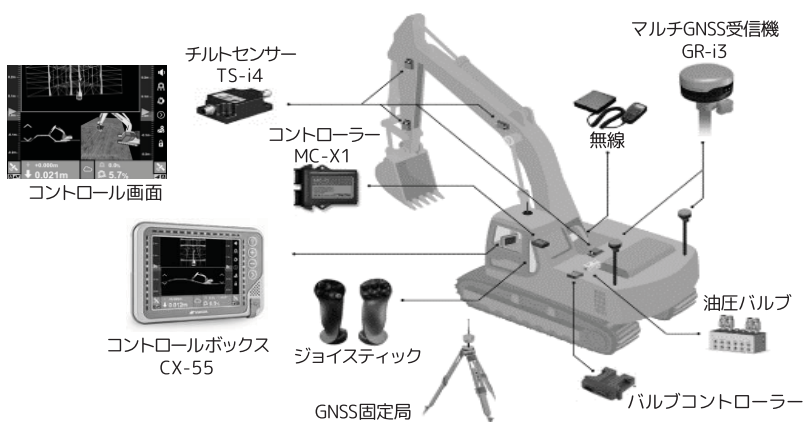
アームレバーを操作するだけで、バケットの刃先の高さが設計面と合うようにブームの角度を自動制御!



高さ自動制御機能を有効にし、更にバケット固定機能を有効にすると、アームレバーの操作だけで設計面に対してバケットの角度を固定!

お使いの油圧ショベルに後付け可能!

- 刃先の高さやバケット角度を自動制御
- マルチGNSS 対応受信機と高精度センサー搭載
- 複雑な3次元形状の設計でも、丁張り無しで施工可能
- マシンガイダンスシステムからのアップグレードが可能



法面の成型、面仕上げ等の作業時間を短縮するだけでなく、仕上げ精度も飛躍的に向上!

ー 現場3Dデータの作成サポート、測量機器・システムの販売からレンタル、メンテナンス校正までー

(株)トプコンソキア ポジショニングジャパン ビジネスパートナー店
J S I M A 認定店

株式会社 岩手測器社

お問合せは
コチラまで
お気軽に

TEL:019-613-2387
FAX:019-613-2386

http://www.iwatesokkisy.com/

〒020-0823 岩手県盛岡市門1丁目16-16



弊社ホームページにて 研修センター体験レポート 公開中!

- ◆重機・レーザースキャナー・ドローン等の体験も可能
- ◆新入社員の教育にも最適
- ◆ICT研修センター内ハウスにて座学研修可能